

資料 第159回神戸市 環境影響評価審査会	No. 7
-----------------------------	----------

住民意見に対する事業者見解

平成29年8月

アイリスパートナーズ株式会社

内容	住民意見	事業者の見解
事業計画に関する意見	<p>道路幅が現在の14mを29mに拡幅予定となっているが、岡場大橋や阪神西宮流通センター側が現在のままで拡幅されないのであれば非常に渋滞が予測される。今回の事業にあたり有野藤原線の拡幅工事を行ってからでないと困る。</p>	<p>本事業において事業計画地内の有野藤原線の拡幅工事は実施しますが、拡幅した車線部分につきましては、計画地外の都市計画道路が同様の拡幅整備がされるまでの期間については、駐車車両等の発生防止のため、ガードレール等で封鎖し、現行と同様に片側1車線通行とする計画としております。</p>
	<p>今回の事業について事業計画地内の道路について有野藤原線のみでなく北方向よりの二方向からの進路変更及び進入路入り口の変更できないものか。</p>	<p>本事業の計画区域は神戸市が決定した「東岡場地区 地区計画」に則り事業計画を進めております。このため、今回の計画区域における接道(里道等を除く)については、有野藤原線のみとなっており、他の道路からの接続については不可能です。</p>
	<p>太陽と緑の道については現状の進入路からかけ離れた位置に進入路を設ける計画となっているが、歩行者専用の散策道路とするならば、現在の階段を利用する進入路が自然環境を維持するうえでも最良と思われる。</p>	<p>太陽と緑の道は、現状有野藤原線を挟んでおり、アクセスが連続しておりません。このため、有野藤原線の横断歩道から直接アクセスできるよう再整備を行います。なお、階段でアクセスする方法は現状と変わりません。</p>
	<p>工事車両の通行について、1日50台も増加することとしているが、神戸市内での造成に係る工事なので、中国道若しくは国道176号に接続するのであれば、神戸市内の通称有馬街道を利用すること。</p>	<p>有馬街道は、有野小学校、有野北中学校の通学路となっていることから、工事用車両が通行することは、児童、生徒の通学時の安全面に懸念が生じるため、有野藤原線及び阪神流通団地内を通行するルートの基本ルートとします。</p>
	<p>工事期間中の待機車両等についても神戸市内に適切な用地を確保することを要請する。</p>	<p>事業計画地は工事車両が待機するだけの十分な土地面積が確保されていますので、事業計画地外の道路で工事車両が待機することはありません。</p>
	<p>造成後は物流倉庫を建設することとなっていますが、進出する事業者はどのような内容であるのか、大型車両及び通常車両として1日どれだけの通行量となるのか、夜間の稼働がどれほどあるのか等についても正確な情報の開示を求める。</p>	<p>発生交通量について1日あたり、往復で大型車が約400台、小型車が約350台の、合計約750台と推定しております。 夜間も稼働しますが、昼間の20%以下程度と推定しております。</p>
	<p>今回の事業について地域にちゃんとした事前説明の開催をお願いする。</p>	<p>工事開始前に、事業の内容等についての事前説明会を実施いたします。</p>

内容	住民意見	事業者の見解
環境保全の見地からの意見	<p>重要な動物の予測結果（184ページ）、重要な動物の評価（186ページ）によると、種の保存法に指定されているオオタカやハヤブサが事業計画地内で確認されているのかかわらず、ヒアリング結果（162ページ）にも指摘されているように、今回の調査で留意することとなっているが、今後の調査はいつ実施する予定であるか明確な回答をお願いします。</p>	<p>猛禽類を含む鳥類の現地調査を平成29年3月から5月にかけて現地調査を実施しており、オオタカやハヤブサを確認しており、事前配慮書にその結果は記載しています。</p> <p>事業計画地内での営巣について、繁殖後期の6月にも鳥類・猛禽類調査を実施し、生息状況の把握を行っています。その際に上空を飛翔するオオタカを確認しましたが、事業計画地内では営巣はありませんでした。</p>
	<p>工事期間、完成後物流倉庫稼働後の交通渋滞・騒音等について、神戸市内（有馬街道）を走行するものとした環境調査結果の開示を要請する。</p>	<p>工事期間中及び施設稼働後の環境調査結果は、神戸市に報告します。この結果は神戸市ホームページで公表されます。</p>